

奈良県宇陀市と視察交流会開催！ 竹内幹郎市長始め、まちづくり担当21名



あさみ会報



2011.10.29 発行
第33号

朝見まちづくり協議会 あさみ会報編集部
発行責任者・鈴木三千夫
松阪市大宮田町209-4
朝見地区市民センター内 電話 0598-52.0007

宇陀市の皆様が 視察に訪れました！

平成23年10月6日(木) 10:30朝見地区市民センターにて視察交流会を開催しました。

竹内 幹郎宇陀市長始め21名のまちづくりに携わる方々が参加されました。

宇陀市では、平成24年度に「まちづくり」を進められる為に、着々と準備をされています。地域として、山間部が中心ですが、歴史があり古代のロマンが感じられる地域です。

交流会では、始めに朝見地区の「まちづくり」の取り組み経過をスライドで説明。

「まちづくり」の取り組みが地域の安全、防災訓練の取り組みへと至った経緯。

くり「地域コミュニティ」の大切さを感じたこと。住民協議会の主な活動を説明した。

質疑応答の内容(抜粋)

Q1 福祉面で、まちづくり協議会との関係は・・・？
A 私たちの地域は高齢になっても元気がない限り働くというのが普通です。

Q2 自治会が有るのに、どうして今まちづくり協議会が必要なのか
A まちづくり協議会を作ろうとした、キーポイントは・・・自治会の役目と住民協議会(まちづくり)の役目は違います。

Q3 まちづくり協議会立上げの際、地域支援員制度はあったのでしょうか。また、どのような方が地域支援員に選ばれたのか・・・？
A 松阪市の考え方は、出来た所から設立しようとの流れでしたから、支援員制度の様なものはありませんでした。私たちは自ら地域の事は地域で・・・との精神で、自分たちで考え取り組んで来ました。その為に積極的に講演会や先進地視察に参加し「まちづくり」の理念を学び活動の原動力にして来たと思えます。それが故に90%は自主活動で作りに来て来たと思えます。それだけに、暇人が自分たちで勝手にやってるんだと思われる時期もありました。

Q4 従来から在る自治会での行事と、まちづくり協議会での新たな行事との、兼ね合いは・・・？
A 競合する事はトラブルになるとして、設立に際して事業・活動はダブルせないとしました。そして地区(地域)にとって必要なものを事業化しようと思しました。その為に、既存の組織の活動と重なるような事はありません。

Q5 まちづくり協議会の当初の役員メンバーは・・・
A 自治会が中心になって「まちづくり」を先導しましたから自治会長が中心に役員登用しました。当然、今迄の組織、老人会、公民館、PTAなど地区の役割を担う組織の長は住民協議会役員となっていました。まちづくりは、タテ系ヨコ系で言うとヨコ系です。各組織をヨコ系で連携して力を発揮して行くのが住民協議会の力であると思えます。

Q6 自分たちの自然環境に生息する「さかな」を守ろうと行っている。この活動には、地元住民の協力もあり、魚の居場所、獲り方などで協力を得ている。当日は、三重県立博物館の学芸員・北村淳一さんから、魚の生態や扱い方を聞いて捕獲した。獲った「さかな」はバケツに入れて学校に戻り、獲れた魚の説明を受けた。最後に全員で保護池に放流・・・元気に大きくなって



守れ！さかなのいのち！ 第3回さかな救出作戦！

平成23年9月29日(木) 9:30から朝見小学校1、2年生が参加する。毎年、子ども達と朝見地区の自然と命の大切さを学ぼうと行われている。朝見地区は、平安時代後期の基盤整備川条里制区割りの自然が残る。自然環境が今日まで現存、水田も水路も1,000年の時代を越えて守られて来た。現在は、福刈り作業になる8月には、水路には水が無くなる。水路のあちこちに水溜まりに、さかな達が集まり命をつなこうとするが日干しになったり、鳥や動物の餌になって命を奪われる。

贈呈金額授与式

19,200円

平成23年10月20日(木)13時より市議会棟会議室で開催されました。

「幸せの黄色のレシートキャンペーン」参加している住民協議会に対し、平成23年4月～9月までの投函レシート金額の1%が商品としてもらえます。今回の贈呈式では、朝見地区の贈呈金額は19,200円となりました。

この貴重な金額は、まちづくりに有効に使わせて頂きます。これからも皆様のご協力に感謝申し上げます。毎月1日 マックスバリュウ中央店でお買い物をされたら、朝見まちづくり協議会の箱にレシートを入れてご協力下さい！

第5回目防犯パトロール同乗体験の実施。

10月24日(土)31日の4日間を使い、小学3年生の防犯パトロール同乗体験を実施しました。同乗する児童は、事前に家族の同意書を頂き、下校時間帯を利用して行われている。約1時間の予定で青色回転灯装着の防犯パトロールで朝見地区内を回っています。24日の初日には、3年生全員で記念撮影を行いました。3人がパトロール車に乗り込み出発した。初回は平成19年に、守られる子どもたちに、同乗体験を通して、防犯意識を持ってもらいたいと

と声をかける子もいた。来年5月の連休明けには、子ども達の手で水の戻った水路に放たれる。幸せの黄色のレシート キャンペーン

災害時協力企業(事業所)の紹介

《朝見地区内の各事業所と災害時の救出作業の協力協定を行っています》

- (大宮田) 茂谷工務店・大徳建設株式会社・上川運送株式会社・JA 松阪農機センター (下七見) 東部建設株式会社 (朝田) 株式会社北川鉄工建設・葵クレーン (佐久米) 小林ファームライスセンター (立田) 宝山石油株式会社・中尾木材有限会社・株式会社ミック・鍛冶春建設有限会社・さくらテラス (古井) 有限会社松井工務店・榊産業有限会社・エムフマツモト有限会社・岡田園芸・株式会社サンカ機工 (新屋敷) 第一産業株式会社 (上七見) 鈴木農産・(尙)橋本電機・興村農産 (和屋) ススキ産機有限会社・溝口土建・井上組・有限会社安達建設



始まった活動である。平日は、防犯部会のメンバーが毎週(火)(金)の週二回実施している。青パト活動には、週一回のパトロールやパトロール日誌が義務づけられている。活動には、風間や仕事が終わってから駆付けてもらって実施されています。大変にご苦労をかけています。

第6回朝見ふれあい芸能大会

がんばろう東日本・陸前高田！復興グッズを景品に購入する！
缶バッジ売上金と寄付金を陸前高田市へ義援金として贈りました。



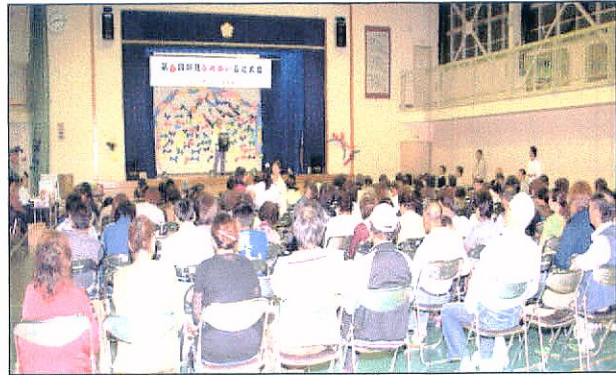
開会挨拶 田村会長



←アンコール大賞・野林梅之さん ↑役員の合唱 ↓プラス朝見の4人グループ



18組の皆様が出演
されました。ありが
うございました。



← 名司会の小林 豊さん
野林 恵利子さんでした。



↑会場に設置 写真展震災写真展・陸前高田市他↑福引景品・石油ストーブ 開会挨拶・安達連合自治会長



本年は氏郷まつり50周年を
記念して「手作り甲冑作り」に、
朝見まち協議会として有志5名
が5カ月間かけて制作しまし
た。(左)氏郷まつりに甲冑隊で
行軍します。応援して下さい。



台風12号の災害被害状況
9月4日防犯パトロール車にて、防犯部
会長と被害状況を・・・パトロールに出
発！13:20 榎田川 太平橋にさし
かかる水没した車を発見。
乗車していた人の安否が確認できず。
警察の到着、消防署の到着したが安否を
確認できず。果ては、レスキュー隊の出
動となったが、最後には安否確認出来ま
した。台風6号で田んぼに減水した所を
確認箇所5ヶ所、堤防の側面から10
0m程に渡って減水を確認。消防団、町
自警団、まちづくり防災部会など出動し
て土壌を積む。この作業に、東黒部消防
団等近隣地区の応援もあり無事に作業終
了となりました。